



「市内の多くの教室でロジクールとZoomを1年以上使用してきた結果、好ましい成果をあげていると言えます。」

- KEVIN REEVE氏、ユタ州立大学、指導・学習技術担当ディレクター

logicool | zoom  
Freedom to collaborate

## STATE ユタ州立大学

### ロジクールとZoomによるハイフレックス学習の再考

イノベーションとアクセシビリティへの取り組みで知られる一流大学であるユタ州立大学（USU）では、学生や教職員から、対面式、オンライン、ハイブリッドの学習モデルをサポートするよう求める声が高まっていました。現在、同大学では、将来を見据えたテクノロジー基盤導入の取り組みにより、コラボレーション、エンゲージメント、柔軟性が向上していることを実感しています。

#### 名前

ユタ州立大学

#### 設立

1888年3月8日

#### 種別

州立、公有地供与のR1研究大学

#### 学生在籍者総数

28,063

#### サテライト拠点数

30

#### ウェブサイト

<https://www.usu.edu/>

#### ソリューション

ロジクールRally Bar

ロジクールRallyカメラ

ロジクールRallyマイクボッド

ロジクールTap

タッチコントローラ

ロジクールSight

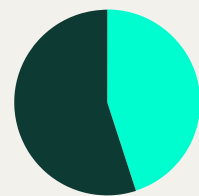
ロジクールScribe

# 概要

州立、公有地供与のR1研究大学であるUSUは、州全域の住民に向けて研究に基づいた価値あるプログラムとリソースを提供し、個人、家族、地域社会の生活向上を支援しています。そのため、USUの使命において重要な要素は、対面であれ、オンラインであれ、ハイブリッド学習であれ、学生たちに魅力的で公平な学習体験を確実に提供することです。

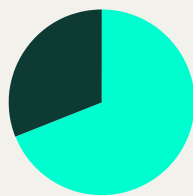
この使命を達成するために、同大学はキャンパス内に専用スペースを設け、新しいテクノロジーの実験室として活用するとともに、導入の可能性について教職員からフィードバックを求めています。このスペースには、オリジネーションクラスルーム（配信教室）、イノベーションラボ、レシーブクラスルーム（受信教室）および会議室などが設けられています。学生や教育者は、新しいテクノロジーを試用し、実際の体験に基づくフィードバックを提供するよう参加を呼びかけられています。他のキャンパスや大学の皆さんにもこれらのイノベーションスペースは開かれており、着想を得ることや、それぞれのキャンパスへの導入を検討する新しいソリューションのアイデアを得ることができます。

そこで、USUの教員が、オンライン学習やハイブリッド学習にZoomのビデオ会議ソフトウェアを活用できるソリューションを求めたところ、デジタルラーニングテクノロジー部門はすぐに行動を起こすことができました。多くのソリューションをテストした結果、USUは**ロジクルのRally Barビデオ会議システム、Rallyカメラ、Rallyマイクポッド、Tapタッチコントローラ、Scribeホワイトボードカメラ**をZoomと組み合わせて全キャンパスの教室に導入しました。先進的なハードウェアと信頼性の高いソフトウェアを組み合わせることで、教育と学習のためのシームレスで柔軟かつ均一なプラットフォームが実現されるとともに、コラボレーションが強化され、USUは未来に即応できる高等教育というビジョンを実現することができました。



45%

の高等教育機関が、より柔軟で多様な学習形態に対応するために、学習スペースの刷新を行っています。<sup>1</sup>



69%

の学生が、オンライン学習の選択肢があることを希望しています。<sup>2</sup>

# 課題

USUでは、複数の場所に分散する学生とのコミュニケーションを改善するために、教員がビデオ会議ソリューションを求め始めたことから、オンライン学習とハイブリッド学習への移行が加速しました。Zoomは、使いやすいインターフェースと堅牢な機能を備えていたため、彼らのお気に入りのプラットフォームになりました。これを念頭に、USUのデジタルラーニングテクノロジー部門は、Zoomと簡単に連携でき、多様な教室規模に対応し、使いやすく管理しやすい機器の評価を開始しました。そして模索の結果たどりついたのが、ロジクルです。



# ソリューション

ニーズに最も適した教育テクノロジーを特定するために、USUはその実験用のスペースを活用し、学生、学部およびデジタルラーニングテクノロジー部門のスタッフは、実際の学習環境において可能性のあるテクノロジーをテストし、フィードバックを提供しました。複数の選択肢を検討した結果、USUはいくつかの主な理由からロジクールを選択しました。

1

## シームレス性と均一性

ユーザー中心設計の「スムーズに機能する」デバイスにより、キャンパス全体で統一された技術環境を実現することで、USUの教員はどの教室や講義室でも、優れた学習体験を提供できるようになりました。

2

## 信頼性と安定性

ロジクールとZoomは、業界内で高い評価を獲得し、数十年にわたり組織規模でプロジェクトをサポートしてきた実績のあるベンダーです。

3

## 管理のしやすさ

ロジクールのデバイスは管理が容易であるため、USUのデジタルラーニングテクノロジー部門は専門技術者の常駐が不要となり、業務が効率化されました。

4

## カスタマイズされた機能

複数の教室の音声を遠隔でミュートできる機能が不可欠でした。これは特に、USUの多くの授業が、Zoomを通して最大14のキャンパスの様々な場所に接続しているためです。また、Zoomと共にイノベーションを起こすというロジクールの取り組みにより、この投資は将来性のあるものとなりました。

5

## コラボレーションの増加

これらのテクノロジーによって、教職員と学生間の関係構築が可能になり、すべての意見がクリアに伝わり、その声に耳を傾けてもらえる学習環境が生み出されました。

「**Scribe**で気に入っていることの1つは、この紫のボタン1つで起動するところです。講師は何も考えずにボタンを押すだけで、ScribeがZoomで配信を開始してくれます。」

- KEVIN REEVE





RALLY BAR

ロジクールRALLYカメラ



ロジクールTAP

ロジクールSCRIBE



**ロジクールRally Bar**は、その一体型設計でUSUの教室に優れた画質と音質を提供し、キャンパスでの対面授業でもオンライン授業でも、すべての学生がクリアかつ魅力的な学習体験が得られるようになりました。

Rally Barに加えて、**ロジクールRallyカメラ**と**Zoomのインテリジェントディレクター**機能により、常に最適なアングルからプロフェッショナルな品質の映像が提供され、誰も取り残されないハイブリッド教室環境がもたらされました。

**ロジクールRallyマイクポッド**が、広い教室での音声の明瞭さを向上させました。

**ロジクールTapタッチコントローラ**は、ワンタッチで会議をコントロールできる使いやすいインターフェイスを提供しました。

またUSUは、AI搭載のホワイトボードカメラである**ロジクールScribe**を導入しました。教員はホワイトボードに書かれた内容をオンライン学習の学生たちとシームレスに共有でき、リアルとデジタルの学習スペース間のギャップを埋めるものとなりました。

「Rally Barの優れた機能の1つは、複数のカメラをサポートしていることです。Rally Barには2台のRallyカメラを追加でき、併せてZoomのインテリジェントディレクターを使用すると、学生が発言するたびにカメラが最適なアングルで学生を映し出し、これが**関係構築の助けとなっています。**」

- KEVIN REEVE



# 結果

USUは、Zoomをロジクールの一連のソリューションと連携させることで、学生や教員の現在の需要に対処できるようになり、将来的な需要にも備えることができます。USUのテクノロジープロジェクトは、地方の小さいコミュニティの学生にとって特に有益でした。オンライン学習の選択肢によって、このような学生たちは、キャンパスに移動しなくても質の高い教育が受けられるようになりました。学生は地元に残りながらも、他の生徒とコラボレーションしたり、学習者のコミュニティと深いつながりを感じたりすることができるプログラムに参加することができます。

キャンパス内でもキャンパス外でも、学生がテクノロジーを通して仲間や教師とシームレスにやり取りできることで、より高度なコラボレーションが促進され、直接授業に参加できない多様な学生のニーズを満たすことができます。USUのハイフレックスプロジェクトは、適切なソリューションを導入することで、高等教育機関が教育体験の柔軟性を高め、より公平な学習環境を生み出し、誰もがどこでも自由にコラボレーションできるようになることを示しています。



logicool for education

[Logicool.co.jp/education](https://logicool.co.jp/education)

<sup>1</sup> EDUCAUSE Quick Poll: Learning Spaces Transformation (学習スペースの転換) | <sup>2</sup> Time for Class Survey. (2023).

© 2024 Logicool. ロジクール、ロジクールロゴおよびその他のロジクールマークは、ロジクールの所有物であり登録されている場合があります。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、予告なく変更される場合があります。

発行：2024年9月